九州国立博物館 季刊情報誌
KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS

Asiage

人吉球磨は
あたたかな歴史の
玉手箱です

特集展示①
人吉球磨の玉手箱
【2024年】10月22日(火)▼12月15日(日)

特集展示②
モンゴル襲来の痕跡を探る
【2024年】10月29日(火)▼【2025年】1月19日(日)

重要文化財
阿弥陀如来坐像および両脇侍立像
鎌倉時代・13世紀／湯前町 明導寺蔵

4F 文化交流展示室 特集展示

人吉球磨の玉手箱

The treasures of Hitoyoshi Kuma

期間 2024.10.22 tue–12.15 sun

九州山地に囲まれ、球磨川の恵みに育まれた自然豊かな人吉球磨。相良氏の700年に及ぶ統治時代に注目が集まりがちですが、その歴史は数万年前の旧石器時代にまで遡ることができます。守り伝えられた文化と歴史を人吉球磨10市町村の文化財で紐解きます。人吉出身・内村光良監督映画の無料上映会などのイベントも、どうぞお楽しみに。

担当学芸員 齋部麻矢さん

あさぎり町指定有形文化財

免田式土器
弥生時代・2～3世紀
あさぎり町教育委員会・個人蔵

そろばん玉型の胴部から長く伸びた首はまるで現代アート！

重要文化財

鎏金獣帯鏡
古墳時代・6世紀
あさぎり町教育委員会蔵

豪華な副葬品から有力豪族の墓とされる才園古墳からの出土。金メッキの銅鏡の出土は国内では極めてめずらしい。

相良長頼像
江戸時代・18～19世紀
人吉市 相良神社蔵

源頼朝の命を受けた相良長頼が遠江（現在の静岡）から人吉の地頭として赴任。以来、明治維新までの700年に渡る相良氏の統治が続く。ひとつの家系が同じ領地を治め続けた例は全国でも稀有。

重要文化財

阿弥陀如来坐像
鎌倉時代・13世紀
人吉市 願成寺蔵

相良長頼が、天福元年(1233)に相良氏の菩提寺として創建した願成寺の本尊。頭部は大正時代の修理が入っているが、厳かな表情、張りのある頬、重厚感あふれる体部、細かな線を密集させる繊細な衣文は鎌倉時代初期の中央仏師の作風をしめす。人吉・球磨地方で守り伝えられた九州を代表する仏像。

織月石
室町～江戸時代
人吉市 相良神社蔵

城の修築時に三日月模様の石が発見されたことから、人吉城を「織月城」と呼ぶように。霊石として尊重されてきた。

人吉球磨地方だけに今も伝わる幻の娯楽

ウンスンカルタ 江戸時代・17世紀／九州国立博物館蔵
江戸時代に幕府の遊興禁止令によって姿を消した「ウンスンカルタ」が、人吉球磨地方には唯一、民間に伝承されている。

4F 文化交流展示室 特集展示

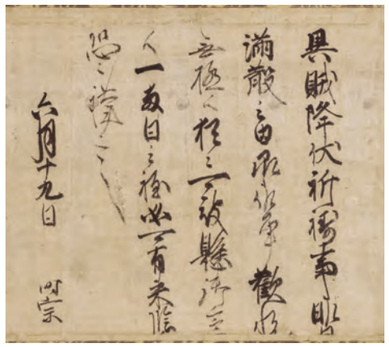
モンゴル襲来の痕跡を探る 4テーマ

TRACING THE MONGOLIAN INVASION

— 期間 —
2024年10月29日《火》→2025年1月19日《日》

ユーラシア大陸の大半を勢力下に収め、飛ぶ鳥を落とす勢いだったモンゴル帝国が1274年、1281年の2度に渡って日本を襲いました。最初の襲来から750年。様々な形で今に残るモンゴル襲来の痕跡を紹介します。

担当学芸員 今井涼子さん



北条時宗書状
鎌倉時代・
弘安4年（1281）
九州国立博物館蔵

時宗が「異国降伏」の祈祷を終えた高僧に感謝するとともに、引き続き祈祷するよう求めた書状が残る。

モンゴル襲来といえば教科書でおなじみのこの場面！

【肥後国御家人・竹崎季長の奮戦シーン】

モンゴル襲来の様子を伝える絵詞を4週毎に場面を替えて展示。上の場面は馬を射られて苦戦する季長の頭上で、てつはうが爆発している。

蒙古襲来絵詞模本
江戸時代・弘化3年（1846）
東京国立博物館蔵

元寇防塁

福岡市の博多湾沿いの各所で復元されたものや実際の遺構が見学可能！

※写真は復元された生の松原の防塁（見学自由）

季長が博多へ向けて騎馬で進む場面。奥にはモンゴルの再襲来に備えて築かれた防塁が描かれている。

現在進行形!! 海と陸からモンゴル襲来の痕跡を探る!

初めて確認されたモンゴル襲来の物証は、博多湾沿岸に残る元寇防塁です。長崎県鷹島沖では海底調査が進められ、記録通りモンゴルの軍船が沈没したことが明らかになりました。更なるモンゴル襲来の痕跡を探して水陸双方からの調査研究が進められています。

＼大迫力／
実物大を九博で常時展示中！

モンゴル軍船の碇（一部複製）
鎌倉時代・13世紀
長崎県松浦市教育委員会蔵

海底に眠るモンゴル襲来の痕跡

鷹島周辺の海底からは、神風とも伝わる暴風雨により沈没したと考えられるモンゴル軍船そのもののほか、武器や日用品が大量に発見された。

てつはう
鎌倉時代・13世紀
長崎県松浦市教育委員会蔵

地中に残るモンゴル襲来の痕跡

下原第一遺跡出土品
鎌倉時代・13世紀
長崎県埋蔵文化センター蔵

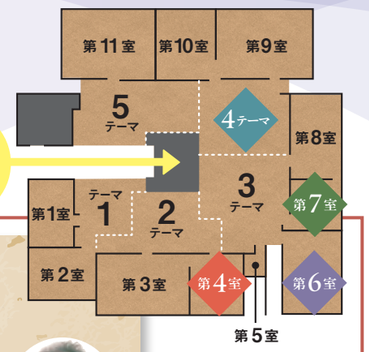
陸からは陶磁器の破片や砥石などが出土。モンゴル襲来と直結はできないが、当時の島での生活が伺える。

文化と好奇心がクロスオーバー!!

文化交流展示室の旅へ!

日本の文化が、アジア・ヨーロッパ諸国との交流によって大きく変化するさまを体感する時間旅行へ出かけませんか。担当学芸員が熱くナビゲートします。

〈4F 館内マップ〉



まずは4F ガイダンスエリアへ!

みんな会いに来てね!

埴輪 馬
古墳時代(5世紀)
那珂川市教育委員会蔵

第4室 みんな大好き! 埴輪がいろいろ にぎやかな古墳のまつり

期間／2024年10月1日(火)～2025年3月30日(日)

担当学芸員
岸本 圭さん

3世紀中頃から6世紀末頃に有力者の墓である古墳の周りに立てられた埴輪は、円筒埴輪から人物や動物をかたどった形象埴輪まで形も大きさもバラエティ豊か。ほぼ九州でしか見られない変わりダネ、石製の埴輪は必見。巨大な埴輪円筒棺も見逃せません。

裏にも回って見て!

こりゃまためずらしい!埴輪の棺桶に石の埴輪が!

まるで、巨大ワッフル…

埴輪円筒棺 古墳時代(4世紀) 宗像市教育委員会蔵

巨大な円筒形の埴輪を横にして遺骸を入れ、蓋をした棺桶。多くは近畿地方で見られ、九州では唯一のもの。

阿蘇山噴火由来の凝灰岩で作られた石人

武人形石製表飾(石人)
古墳時代(6世紀)
久留米市教育委員会蔵

両手を挙げて古墳をガードする武人。人懐っこい笑顔に見えるが、背面には靫(ゆぎ)という矢をいれる武具が表現されている。

第7室 千年前の織物が語る交流模様 遼の染織品

期間／2024年10月1日(火)～11月24日(日)

担当学芸員
桑原 有寿子さん

唐の滅亡後、遊牧民族・契丹が北方に建国した遼は、契丹特有の文化風俗を保ちつつ、唐や宋など漢民族の文化も旺盛に取り入れました。小さな染織品の断片から多様な遼の文化や、深掘りすれば平安時代の国際性が見えてきます。※展示作品はすべて九州国立博物館蔵

牡丹の花が見えますか?

牡丹唐草鳥円文様錦裂 中国・遼時代(10～12世紀) 牟田口章人氏寄贈

一見、茶色のボロ切れのようだが、よ～く観察すれば鮮やかで精緻な制作当初の姿が見えてくるはず。

歴史は変わる、遼の染織品が通説を覆す!!

緑を飾る豪華な錦に注目!

神護寺経帙
平安時代(12世紀)

これまで平安時代の錦は日本風のものと考えられていたが、遼の染織品の出土等により、実は中国からの舶来品であることが判明。

鸚哥花文様錦袋
中国・遼時代
(10～11世紀)
牟田口章人氏寄贈

鶴じゃないよ、海東青(ハヤブサ)だよ!

契丹民族が山や水辺で鷹狩りをする際などに着用した服の文様。

双鳥文様錦裂
中国・遼時代 (10～12世紀初期)
牟田口章人氏寄贈

第6室 仏像のはじまりを目撃せよ! ガンダーラの美術

期間／2024年10月1日(火)～12月22日(日)

担当学芸員
大澤 信さん

ご存じですか?お釈迦様が亡くなって数百年間は、その姿を人間の形(仏像)で表すことはタブーでした。その伝統を破り、最初に仏像を作った地域のひとつが、ガンダーラ(現・パキスタン北西部)です。お釈迦様の生涯を表したレリーフは必見。29歳で出家する前の人間・シッダールタの姿にもご注目ください。

彫りが深いイケメン的お顔立ち!

釈迦菩薩立像
クシャーン朝(2～3世紀)
九州国立博物館蔵

誕生から涅槃まで、お釈迦様80年の生涯を浮彫で表現

※4点ともにクシャーン朝(2～3世紀)／個人蔵

えっ? 右脇から誕生なの…

仏伝浮彫「誕生」
ヒマラヤ山麓のルンビニー(現・ネパール)に王子として誕生。直後に「天上天下唯我独尊」と宣言したのは有名な話。

後に子宝にも恵まれます!

仏伝浮彫「結婚」
王子は19歳で結婚。夫人ヤショーダラの手を握り、楽器が奏でられるなか祝福を受ける。

そうだ、出家しよう!

仏伝浮彫「宮廷生活」
宮廷内で何不自由なく暮らす王子は夫人と並んで座り、華やかな生活を謳歌。しかし人生に疑問を持つ日が訪れる…。

この間、色々ありまして…

お釈迦様、最後のすがた…

仏伝浮彫「涅槃」
最後の旅を終え、クシナガラの沙羅双樹の木の下、死期を悟って横たわりながら弟子に囲まれて涅槃に入る。

室町幕府の将軍さまは15世紀のインフルエンサー!

文阿弥花伝書 室町時代(永禄2年・1559)／九州国立博物館蔵

4テーマ 室町時代の武家のステータス 唐物と水墨画

期間／2024年10月29日(火)～11月24日(日)

担当学芸員
畑 靖紀さん

金閣を建立した室町将軍・足利義満は、中国と貿易を積極的に行い、多くの唐物(中国文物)を蒐集することで幕府の権威を示しました。中国ではもともと仏事に使われていた掛軸や道具類などを、鑑賞用インテリアにアレンジさせたのが、義満と、銀閣で有名な孫の義政。飾り方のマニュアル(左)も広まり、時のセレブの間で大流行しました。

重要文化財の巻物を切っちゃった豪傑な将軍!

重要文化財 **洞庭秋月図** 玉澗筆・賛 中国・南宋時代(13世紀)／国(文化庁)蔵

室町水墨画に多大な影響を与えた中国のお坊さん・玉澗の絵画。墨を自由にそそぎ散らして偶然に出現したムラムラをもとに風景を作り上げる、アクション・ペインティング的な技法を採用。もとは長～い巻物でしたが、それを座敷に飾るために8つに切断したのは、あの義満。なんとも大胆不敵!

博物館サポーターに聞く!

九博の舞台裏 VOL.06

古今東西の様々な展示で私たちを楽しませてくれる博物館は、まるで3D百科事典。そんな博物館を応援する館外ボランティア「九州国立博物館を愛する会」（以下、愛する会）の活動をご紹介します。

今回の舞台裏 **九州国立博物館を愛する会**

「太宰府に国立博物館を！」という市民運動「誘致する会」から始まった「愛する会」は、実に36年という長い活動歴を誇ります。約200名の会員を代表して、吉廣勝太郎さん（左）と髙野眞幸さん（右）にお話を伺いました。

地域と九博の架け橋に

2005年に誕生した九博は、19歳のティーンエイジャー。明治生まれの東京、京都、奈良の博物館に比べると、まだまだ若い博物館です。その誕生に深く関わったのが実は「愛する会」なのです。

国立博物館を誘致する市民運動としてスタートした「愛する会」は、建設が決まると「支援する会」と名を変え、国内外の博物館や美術館へ研修に出向くなど広報活動に努めました。そして、ついに博物館がオープン！そこでお役御免となるはずが「辞めちゃうのは惜しい」「もう一回やろうよ」と有志一同が「愛する会」として再集結。全国的にも珍しい館外ボランティアとして九博をサポートしています。

その活動の第一歩は清掃活動から。九博を訪れる人を気持ちよくお迎えするために「ピッカ美化隊」を結成。道路の清掃や花の植え付けを行いました。この活動が地元住民や企業との共同作業へと広がり、地域と九博との架け橋となる「愛する会」の原点に。現在、メンバーは一般がおよそ200名、法人は約85社に上ります。

小学4～6年生の子どもたちが192名も参加した「第9回つくし郷土カルタ大会」。

「散歩がてらに毎日、花の様子を見に来ています」と花壇に優しい目を注ぐのは、ピッカ美化隊隊長の吉廣さん。手入れの甲斐あってカラフルなポーチュラカの花々が訪れる人々の目を楽しませてくれます。

活動を未来へつなぐために

「『博物館がやって来た！』あの頃の喜びやワクワクする気持ちを開館19年後の今も忘れず、さらに未来へつなぐためには次世代の人材が必要です」と髙野さん。「愛する会」ではバックヤード見学やワークショップで楽しみながら学べる「九博子どもフェスタ」のほか郷土史や九博をテーマにした「つくし郷土カルタ大会」などを企画。「終了後は、子どもたちを展示室やあじっぱに誘って博物館に親しんでもらい、ちっちゃな九博ファンを育てたい。彼らが将来活動を引き継ぎ、博物館と地域が共に発展していけたらいいですね」と弾む声からも九博愛が拡がります。

ホームページも！

ピッカ美化隊メンバー急募！

「ボランティアは楽しくなくっちゃ！」という愛する会の皆さんと一緒に清掃や花のお世話をしてみませんか。お気軽にお問い合わせください！

TEL 092(408)3062
九州国立博物館を愛する会　事務局

M CAFE エムカフェー 1周年記念

きゅ～はくエントランスホールの一角にある「Mカフェ」が、この10月にオープンから1年を迎えます。展示鑑賞や太宰府散策の休憩にカフェでゆったりとした時間を過ごしてみませんか。こだわりのハンドドリップコーヒーや小石原焼の器で提供する可愛いスイーツをご用意して、皆さまをお待ちしています。

1Fエントランス　九州国立博物館 Mカフェ
10:00-17:00(16:30L.O)
インスタグラム／@m_cafe_kyuhaku

八女茶のシフォンケーキ

税込600円

廃仏の嵐を生き延びた、柔和な北魏仏

しかつめらしくない。優しそう。キャラ立ちしている。中国の仏教彫刻の中で、日本人にとって最も親しみやすいものといえば、北魏の仏像だろう。ゆえに北魏仏は特に近代以降、岡倉天心の論に基づいて飛鳥仏の源流と見なされ、日本人から格別の想いを寄せられてきた。だがその後の研究で北魏以降、東魏、西魏の仏像も含め、飛鳥仏に雰囲気の似たタイプの仏像が作り続けられ、朝鮮半島を経て徐々に日本へ伝播したことが明らかになりつつある。

いずれにせよ日本人の見方が変わっただけで、仏像自体は変わっていない。北魏金銅仏としては初期の、そしてかなり大型の《銅造弥勒仏立像》は、薄手の衣の下にしっかりした肉体を感じさせる作。大きめの頭部と、それに比して小さな足というプロポーション、柔和な表情などから、横に吹き出しを描き、セリフを書き入れたくなるような親近感が感じられる。

台座には、太平真君四年（443）、菀申なる者が皇太子のために本作を造立、一族の者が結縁したとの刻銘がある。それから三年後、太武帝の治世下では大規模な仏教弾圧が行われ、多くの仏像が失われた。本作はその嵐を潜り抜けた数少ない遺例であり、頻繁に変化した中国古代仏像の変遷を辿る手がかりの、重要な作品なのだ。

像と一体で鋳造された台座の背面と左側面に銘文が刻まれている。弥勒は釈迦入滅から56億7千万年後の世に現れ、衆生を救うとされた未来仏。

《重要文化財》
弥勒仏立像

展示期間	11月12日(火)～12月22日(日)
時代・世紀	中国・北魏時代 太平真君4年(443)
所蔵	九州国立博物館

4階文化交流展示室（基本展示室）にて展示しています。

美術ライター
橋本麻里さん

日本美術を主な領域とするライター・エディター。甘橋山美術館開設準備室長。著書に「かざる日本」(岩波書店)など。
X（旧Twitter）:@hashimoto_tokyo

TICKET INFORMATION

意外と知らなかった！お得なチケットパス情報！ 詳しくはWEBで

九州国立博物館 キャンパスメンバーズ

大学・大学院や短期大学、高等学校などの学校を対象とした博物館機能を教育に活用するための制度。会員になると、文化交流展(平常展)の無料観覧や特別展の割引観覧などの特典がうけられます。

国立博物館メンバーズパス

4つの国立博物館(九州・東京・京都・奈良)共通の会員制度。平常展は何度でも無料。九州・京都・奈良の特別展は団体料金※で観覧できます。
[料金]一般2,500円、学生1,200円　[有効期限]発行日から1年間

九州国立博物館賛助会

九博の趣旨にご賛同いただける団体様・個人様向けの寄附会員制度です。収蔵品の購入や教育普及活動などを通じて広く文化振興のために活用されます。いただいたご支援に応じたサービスをご提供しております。

太宰府天満宮＆九州国立博物館共通チケット

太宰府天満宮の宝物殿及び菅公歴史館と、九博の平常展を観覧できます。通常価格で購入するよりも400円お得です。太宰府の歴史をたっぷり満喫。
[料金]一般1,000円

※団体料金設定のある特別展に限る。

ACCESS

車 九州自動車道「太宰府」ICまたは「筑紫野」ICから高雄交差点経由で約20分

JR JR二日市駅から西鉄二日市駅（徒歩約12分、バス約6分）、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用
またはJR二日市駅からタクシーで約15分

西鉄バス 博多バスターミナル（1階 11番のりば太宰府行き）から西鉄太宰府駅下車（所要時間約40分）、徒歩約10分

西鉄電車 西鉄福岡（天神）駅から西鉄天神大牟田線（特急約16分／急行約18分）で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線（約5分）で太宰府駅下車、徒歩約10分
※特急／急行料金不要

駐車場の空き情報

九州国立博物館周辺の駐車場の空き情報がウェブでチェックできます。右記 QR コードで携帯電話からもチェックできます。
※特別展会期中は混雑が予想されます。
※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

身障者駐車場はどちらの入口からでも入れます。

INFORMATION

開館時間	9:30～17:00（入館は16:30まで）※夜間開館の実施についてはHPでご確認ください。
休館日	月曜日［ただし10月14日・11月4日（月・祝）は開館、10月15日・11月5日（火）・12月24日（火）～31日（火）は休館となります。］
文化交流展観覧料	一般／700円　大学生／350円（学生証等の提示をお願いします。）※特別展は別料金 ※11月3日（日）は「留学生の日」で留学生は文化交流展の無料観覧日 ※11月17日は「家族の日」で中学生以下のお子様の同伴者2名は文化交流展が無料 1家族（グループ）につき2名まで

※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。高校生以下・18歳未満及び満70歳以上の方、キャンパスメンバーズの方は、文化交流展について無料。展示室入口にて生年月日がわかるもの（生徒手帳、健康保険証、運転免許証等）、学生証、教職員証等をご提示ください。詳細についてはホームページ等をご確認ください。

KYUSHU NATIONAL MUSEUM 九州国立博物館

日本博 JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

太宰府天満宮横 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
www.kyuhaku.jp　きゅーはく　検索

ご案内　ハローダイヤル（9:00～20:00／年中無休） **050-5542-8600** ※オペレーターが対応します。通話料が発生します。

メルマガやXでも楽しい情報を発信しています！

メルマガ https://fofa.jp/kyuhaku/a.p/101/

Instagram @kyuhaku_koho

X（旧 Twitter） @kyuhaku_koho

Facebook Kyushu National Museum

広告

通りゃんせ
1,100円（税込）

梅を練り込んだお素麺にやさしい出汁を絡めた、にゅう麺。鶏肉、エビ、お野菜など９種類のトッピングが色鮮やかな一品です。

御食事処 笠乃家

TEL/ 092-922-5582
太宰府市宰府3-2-41（太宰府天満宮参道）

「笠乃家」店内は和モダンな町家づくり。古材を使った、落ち着いた店内でゆっくりお食事を楽しむことができます。

かさのや

九州国立博物館 季刊情報誌 Asiage［アジアージュ］vol.74　2024年10月1日発行　発行：九州国立博物館

本誌の全部または一部を無断で複製（コピー）することは禁じられています。

製作：アド印刷株式会社